

# CCMシリーズ開口治具 施工手順書

## ◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。

施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



### 警告



禁止

◆製品の改造はしないでください。  
⇒破損の原因となります。

◆重いものを落としたり、ぶついたり等強い衝撃を与えないでください。  
⇒破損の原因となります。

◆ベンジンやシンナーなど引火性溶剤で拭かないでください。  
⇒変色の原因となります。



必ず守る

◆製品の上に乗らないでください。  
⇒破損・事故の原因となります。



### 注意



禁止

◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。  
⇒変色の原因となります。

◆通行の障害となる場所では施工しないでください。  
⇒破損・事故の原因となります。

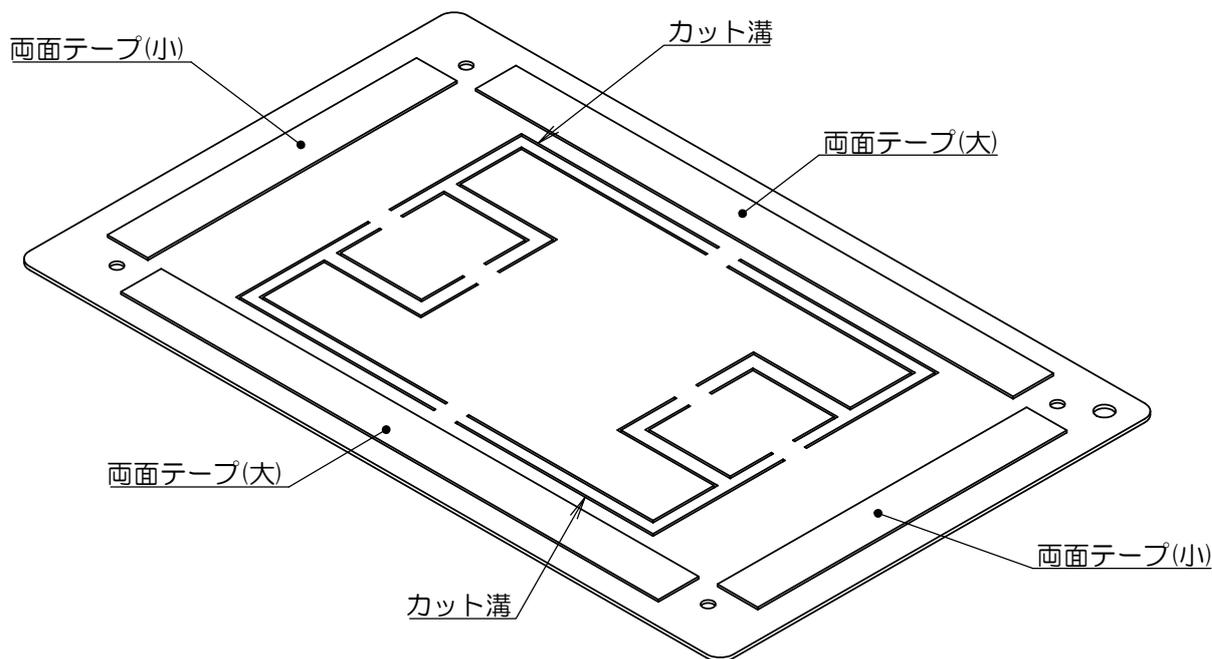


必ず守る

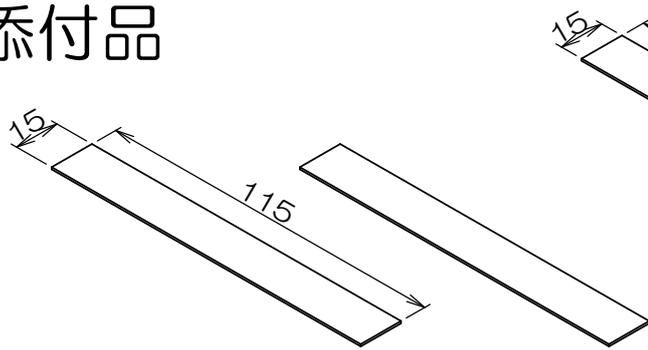
◆乾燥した場所で使用してください。  
⇒変色・機能不備の原因となります。

◆硫化水素ガス・アンモニアガスなどの多い場所で使用しないでください。  
⇒変色・機能不備の原因となります。

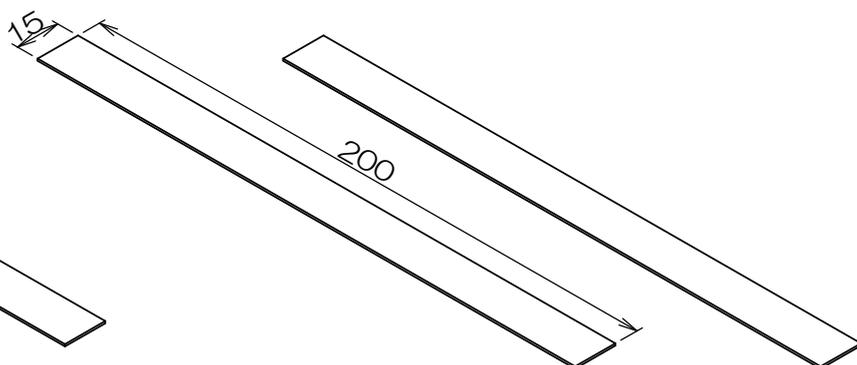
## ◆部品構成と名称



## 添付品



両面テープ(小)×2枚



両面テープ(大)×2枚

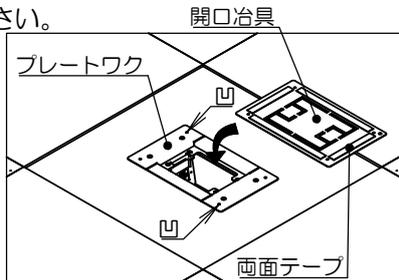
# 施工方法

## 1 開口治具の設置

プレートワークとボックスを固定後、両面テープが上になるように、開口治具をプレートワークの上に乗せてください。その際、プレートワークの4箇所の凹と開口治具裏面の凸が嵌るように設置してください。

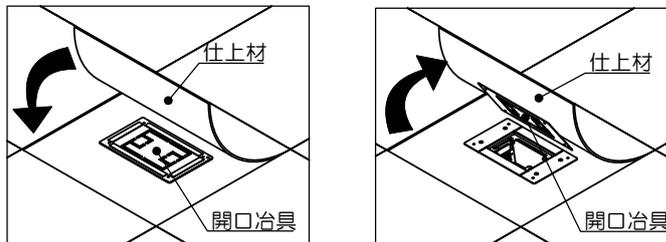
その後、開口治具表面の両面テープの剥離紙を剥がしてください。

※プレートフタは乗せないでください。  
※開口治具の上には乗らないでください。



## 2 仕上材の設置

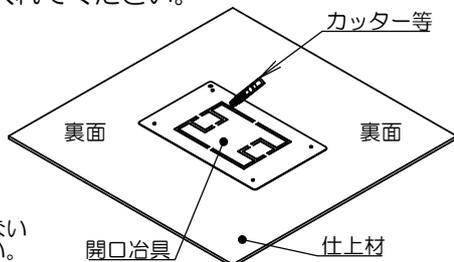
設置した開口治具の上に、仕上材を敷き、開口治具の両面テープで仕上材の裏面に貼り付けてください。仕上材の裏面に開口治具が確実に貼り付いていることを確認してください。\*両面テープでの貼り付けが確実に行えるよう、仕上材の上から軽く押してください。



## 3 仕上材のカット1

剥がした仕上材を、開口治具の貼り付いている面に裏返してください。

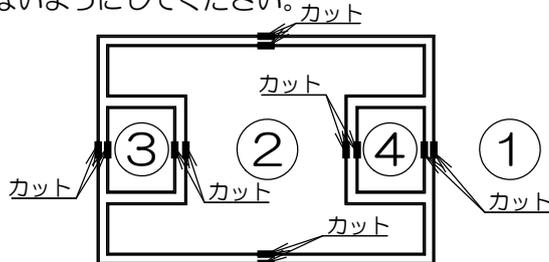
その後、開口治具の溝に沿わせて、カッター等で仕上材に切り込みを入れてください。



※カッター等で手を切らないように注意してください。

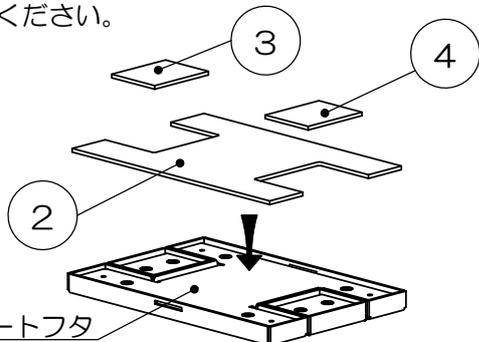
## 4 仕上材のカット2

全溝に切り込みを入れた後、開口治具を取り外し、切り込みが入っていない部分をカットしてください。カットした仕上材①～④は全て使用しますので、紛失しないようにしてください。



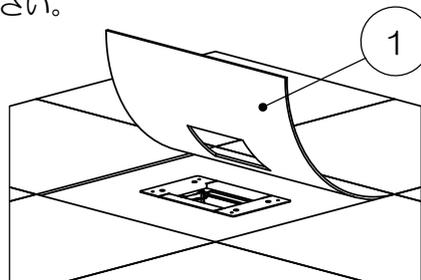
## 5 仕上材の貼り付け

カットした仕上材②～④をプレートフタに貼り付けてください。



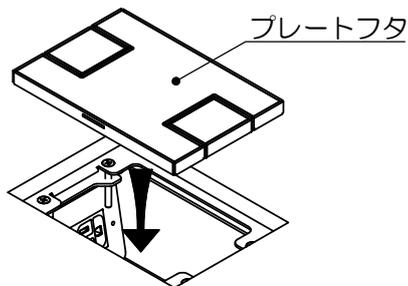
## 6 仕上材を敷く

カットした仕上材①をプレートワークの上に敷いてください。



※仕上材の貼り付け位置によっては、プレートフタが収まらない場合がありますので、ご注意ください。

## 7 プレートフタを収める



## 8 繰り返し使用する場合

繰り返しの使用により両面テープの粘着力が低下します。粘着力が低下した場合は、古い両面テープを剥がし、添付の両面テープに貼り変え、ご使用ください。

## ■ お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361